

10月13日(金曜日): 大会3日目

第4会場(4・5会議室)

09:40 感染症: HIV/AIDS

座長: 入山 茂美(長崎大学)

- P3 - 01 南アフリカにおける HIV 感染予防対策としての女性用コンドーム普及に係る調査
水元 芳¹⁾、青木 美由紀²⁾、津山 直子³⁾、橋本 秀美⁴⁾
1) JICA 南アフリカ事務所 2) シェア = 国際保健協力市民の会 3) 日本国際ボランティアセンター
4) JICA 南アフリカ事務所
- P3 - 02 南アフリカ共和国リンポポ州ベンベ郡マカド地区における在宅 / コミュニティケア現状把握調査
青木 美由紀¹⁾、津山 直子²⁾、磯田 厚子²⁾、TV AAP³⁾
1) (特活)シェア = 国際保健協力市民の会 2) (特活)日本国際ボランティアセンター 3) Tivoneleni
Vavasati Aids Awareness Project
- P3 - 03 マラウイ共和国リロングウェにおける抗レトロウイルス剤の服用について - 医療従事者、服薬援助者、患者の役割
木曾 正子¹⁾、Ali Moazza¹⁾、Nyasulu Yohane²⁾、黒岩 宙司¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健計画学教室 2) Kamuzu College of Nursing, Malawi
- P3 - 04 ナイロビのスラムにおけるエイズ・インパクトとその対処戦略 - エイズ・インパクト緩和政策のインプリケーション -
関根 一貴¹⁾
1) London School of Hygiene and Tropical Medicine
- P3 - 05 ジンバブエ共和国マシング州 HIV 母子感染予防プロジェクト進捗の検討
橋本 尚文¹⁾、内山 雄太¹⁾、垣本 和宏²⁾、宮村 和夫²⁾、石田 裕²⁾
1) ジンバブエ共和国マシング州 HIV 母子感染予防プロジェクト JICA 専門家 2) 国立国際医療センター 国際医療協力局
- P3 - 06 ガンダの HIV 感染者に対する 7 価肺炎球菌コンジュゲートワクチンと 23 価肺炎球菌ワクチン併用接種の血清免疫学的効果に関する研究
陳 蒙¹⁾、黒木 麗喜¹⁾、吉嶺 裕之¹⁾、有吉 紅也¹⁾、大石 和徳²⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症予防治療分野 2) 大阪大学 微生物病研究所感染症国際研究センター高病原性感染症研究部門
- P3 - 07 ウガンダにおける HIV 孤児に対する社会保障・生活保護制度
能勢 幸代¹⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局

10:10 感染症: HIV/AIDS

座長: 明石 秀親(名古屋大学)

- P3 - 08 カンボジア国首都プノンペンにおける HIV 検査受検決定要因に関する考察
佐々木 由理¹⁾、垣本 和宏²⁾、Ou Saroeun³⁾、Vong Sathiarany³⁾、Moazzam Ali¹⁾、Koum Kanal³⁾、黒岩 宙司¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健計画学教室 2) 国立国際医療センター国際医療協力局
3) カンボジア国立母子保健センター

- P3 - 09** タイ北部カレン族のアンフェタミン使用と HIV 感染リスク
 小堀 栄子¹⁾、Visrutaratna Surasing²⁾、嘉田 晃子³⁾、Wongchai Siriporn²⁾、木原 雅子¹⁾、木原 正博¹⁾
 1) 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 国際保健学講座 社会疫学分野 2) タイ保健省チェンマイ県保健局 3) 国立循環器病センター
- P3 - 10** タイ北部の小学生のエイズに関する知識および態度 - エイズの影響を受けた子どもをとりまく学校環境調査より
 石川 尚子¹⁾
 1) School of Lifelong Education & International Development, Institute of Education, University of London
- P3 - 11** タイ東北部における HIV/AIDS 患者の抗レトロウイルス剤治療と感染予防行動
 小林 廉毅¹⁾、北島 勉²⁾、Pagayia Nonglak³⁾、佐藤 元¹⁾、豊川 智之¹⁾、Suggaravetsiri Pornapa⁴⁾、Nasungchon Kittisuk⁵⁾
 1) 東京大学 大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 2) 杏林大学総合政策学部 3) Sirindhorn College of Public Health 4) Faculty of Public Health, Khon Kaen University 5) Sirindhorn General Hospital
- P3 - 12** 東アフリカ在住の出稼ぎ中国人の HIV/AIDS に関する意識・知識調査
 蔡 国喜¹⁾、門司 和彦¹⁾、呉 小南²⁾、張 孔來³⁾、潘 宝駿⁴⁾、
 1) 長崎大学 熱帯医学研究所熱帯感染症研究センター 2) 福建医科大学 3) 北京協和医科大学 4) 福建省疾病予防コントロールセンター (福建 CDC)
- P3 - 13** ART の adherence 測定手法に関する文献レビュー
 野崎 威功真¹⁾、垣本 和宏¹⁾、帖佐 徹¹⁾、石田 裕¹⁾
 1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力課
- P3 - 14** タイにおける日本人勤務者の HIV 感染リスクに関する研究
 伊藤 千顕¹⁾、野内 英樹²⁾、今津 里沙³⁾、Supang Chantanavich⁴⁾、黒岩 宙司¹⁾
 1) 東京大学 大学院 医学系研究科 国際保健計画学教室 2) 結核研究所 & 長崎大学 3) 結核研究所 4) The Asian Research Center for Migration, Institute of Asian Studies, Chulalongkorn University

10 : 40 感染症 : HIV/AIDS / 感染症 : 結核

座長 : 野内 英樹 (長崎大学)

- P3 - 15** AIDS 発症した無資格滞在タイ人の一例 第 1 報 : 臨床経過
 小澤 幸子¹⁾、高山 義浩¹⁾
 1) 佐久総合病院 総合診療科
- P3 - 16** AIDS 発症した無資格滞在タイ人の一例 第 2 報 : 帰国支援
 高山 義浩¹⁾、座光寺 正裕²⁾、小澤 幸子¹⁾
 1) 佐久総合病院 総合診療科 2) 九州大学 医学部
- P3 - 17** 在日タイ人 HIV 陽性者の帰国後の確実な治療へのアクセスと stigma 軽減のための取り組み
 李 祥任¹⁾、内野 ナンティヤ²⁾、枝木 美香²⁾、沢田 貴志¹⁾
 1) (特活) シェア = 国際保健協力市民の会 2) HIV/AIDS 在日外国人支援ネットワーク
- P3 - 18** タイ東北部における喀痰塗抹検査の質評価
 南川 真理子¹⁾、Singthong Seri²⁾、Tesana Nongluck²⁾、北島 勉³⁾
 1) 杏林大学 大学院 国際協力研究科 2) 第 6 疾患予防対策事務所 3) 杏林大学 総合政策学部
- P3 - 19** パキスタン結核対策プロジェクトにおける結核対策モデル県の治療成績の報告
 宮城 裕人¹⁾、塚本 幹夫²⁾、加藤 誠也²⁾、石川 信克²⁾
 1) 聖マリア病院 国際協力部 2) 結核予防会結核研究所
- P3 - 20** イエメンサナア市における DOTS パートナーとしての NGO 保健ボランティアによる結核対策支援の試行
 大角 晃弘¹⁾、Mahyub Hamood¹⁾、Ali-Hussein Isam²⁾、Al-Absi Amin³⁾
 1) 財団法人結核予防会 結核研究所 研究部 2) National Tuberculosis Institute, Ministry of Public Health,

P3 - 21 こどもの結核感染リスク

中岡 大士¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症予防治療分野

11:10 感染症：結核 / 在日外国人医療 / 旅行医学

座長：近藤 麻理 (岡山大学)

P3 - 22 米国の結核の再興に対するアドボカシー戦略から学ぶ

小原 尚美¹⁾、石川 信克¹⁾

1) 結核予防会結核研究所

P3 - 23 留学生の健康観に影響を及ぼす要因分析

菅原 友美¹⁾、丹野 かほる²⁾

1) 国立国際医療センター 2) 新潟大学 医学部 保健学科

P3 - 24 さいたま市在住のフィリピン人既婚女性が直面している問題 - 対処経験とソ - シャルネットワーク -

綿引 信義¹⁾、畑 栄一¹⁾、岡本 悦司¹⁾、兵井 伸行¹⁾、Licos Jr Artemio R.¹⁾、Ssekitooleko James¹⁾、Lyimo E. Joyce¹⁾、Chimedtseren Nyamragchaa¹⁾、Gebremicheal Tigist¹⁾、福田 笑子、福澤 歌織、北川 由美子

1) 国立保健医療科学院

P3 - 25 在日外国人の医療保障と慢性疾患の治療継続の関連について

レシャード カレッド¹⁾、前里 和夫¹⁾

1) 医療法人社団 健社会

P3 - 26 告知・終末医療場面等での医療通訳者に関する研究

村松 紀子¹⁾、庵原 典子¹⁾、横山 雅子¹⁾

1) 医療通訳研究会

P3 - 27 2003 - 2005長野県外国人健診3年間の受診者の健康状態とその推移

田代 麻里江¹⁾、林 良江²⁾、内坂 由美子³⁾、松村 隆³⁾

1) 長野県看護大学 看護学部 看護学科 国際看護学 2) 元長野県看護大学 3) 北信外国人医療ネットワーク

P3 - 28 途上国に長期滞在する者の健康管理について

田中 孝明¹⁾、中野 貴司¹⁾、庵原 俊昭¹⁾、赤野 友美²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 三重病院 2) 元青年海外協力隊員

11:40 旅行医学 / 肝炎ウイルス / その他

座長：西山 利正 (関西医科大学)

P3 - 29 当院を受診した海外渡航者の検討

菅沼 明彦¹⁾、今村 顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾、根岸 昌功¹⁾

1) 東京都立駒込病院 感染症科

P3 - 30 タイに滞在する日本人小児の受療疾患に関する検討

酒井 理恵¹⁾、高橋 謙造¹⁾、Suchart Laobhripatr²⁾、福島 慎二³⁾、Somarch Wongkhomthong²⁾、丸井 英二¹⁾

1) 順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 2) バンコク病院 3) 海外勤務健康管理センター

P3 - 31 2005 - 2006年のスリランカ国立病院狂犬病外来を受診した外国人旅行者における動物咬症の疫学的検討

GUNESKERA Amila¹⁾、神垣 太郎²⁾、玉城 英彦²⁾

1) Rabies Treatment Unit National Hospital of Sri Lanka 2) 北海道大学 大学院医学系研究科 社会医学専

攻 予防医学講座 国際保健分野

- P3 - 32 ソロモン諸島における B 型肝炎ウイルス感染の疫学
内海 孝子¹⁾、矢野 嘉彦²⁾、林 祥剛³⁾、川端 真人³⁾
1) 神戸大学 大学院 医学系研究科国際環境医科学講座 国際保健学 2) 神戸大学 大学院 医学系研究科 応用分子医学講座 糖尿病代謝・消化器・腎臓内科学 3) 神戸大学 医学部附属医学医療国際交流センター
- P3 - 33 タイ国北部の献血者における B 型肝炎ウイルス遺伝子型の分布
鳥山 寛¹⁾、千馬 正敬¹⁾、Jutavijittum Prapan²⁾、Yousukh Amnat²⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 病変発現機序分野 2) チェンマイ大学 医学部 病理学部門
- P3 - 75 トンガの食事と肥満
福山 祥子¹⁾
1) 東京大学 大学院

第 5 会場 (リハーサル室)

09 : 40 国際学校保健 / 歯科・口腔保健

座長：金田 英子 (長崎大学)

- P3 - 34 ネパール村落部学校を中心とした学校生徒と家族への手洗い推奨活動
杉野 美礼¹⁾、辻 立世¹⁾
1) 兵庫大学 健康科学部 看護学科
- P3 - 35 アフリカの寄生虫対策の経験
天野 皓昭¹⁾、Charles Mwandawiro²⁾
1) 元 JICA 国際寄生虫対策プロジェクト、現：横浜勤労者福祉協会 2) ケニア中央医学研究所 ESACI-PAC
- P3 - 36 途上国の小学校における寄生虫対策保健教育の妥当性と有効性
友野 順章¹⁾、Njomo Doris²⁾、Wasunna Beatrice²⁾、Kihara Jimmy²⁾、Muhoho Dominic²⁾、三井 義則³⁾、天野 皓昭²⁾、Mwandawiro Charles²⁾、竹内 勤⁴⁾
1) 横浜労災病院 小児科 2) ケニア中央医学研究所 3) 長崎大学熱帯医学研究所、寄生行動制御分野 4) 慶応大学医学部熱帯医学・寄生虫学教室
- P3 - 37 寄生虫対策をエントリーポイントとした学校保健推進活動 ~ WACIPAC ~
林 栄治¹⁾、原 樹²⁾、粟沢 俊樹³⁾、森中 紘一⁴⁾、Kwabena Bosompem⁵⁾、Michael D. Wilson⁵⁾、David Ofori-Adjei⁵⁾、門司 和彦⁶⁾、太田 伸生¹⁾、竹内 勤⁷⁾
1) 東京医科歯科大学大学院 国際環境寄生虫病学教室寄生虫病学分野 2) 久留米大学 医学部 寄生虫学講座 3) JICA 専門家 4) WACIPAC チーフアドバイザー 5) 野口記念医学研究所 6) 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯感染症情報センター 7) 慶応義塾大学 医学部 熱帯医学・寄生虫学教室
- P3 - 38 アフリカの学校における HIV・エイズ予防プログラム 文献レビューとケニア政府への政策提言
関根 一貴¹⁾
1) London School of Hygiene and Tropical Medicine
- P3 - 39 小学校でのライフスキル教育：タンザニア・ドドマ市での教師主導による参加型ピア教育の事例から
中田 志郎¹⁾、竹中 伸一²⁾
1) 独立行政法人国際協力機構 タンザニア事務所 元協力隊員 2) 長崎大学 国際連携研究戦略本部
- P3 - 40 途上国における学校歯科保健の成果に影響を及ぼす因子
深井 穂博¹⁾、矢野 裕子¹⁾、中村 修一²⁾、蒲池 世史郎¹⁾
1) ネパール歯科医療協会 2) 九州歯科大学国際交流・協力室

10 : 10 歯科・口腔保健 / 人材育成・人材開発

座長：深井 穂博（深井保健科学研究所）

- P3 - 41 途上国における口腔保健専門家養成プログラムの問題点と課題
蒲池 世史郎¹⁾、中村 修一²⁾、矢野 裕子¹⁾、平出 園子¹⁾、安部 一紀¹⁾、深井 穂博¹⁾
1) ネパール歯科医療協会 2) 九州歯科大学国際交流・協力室
- P3 - 42 ネパール王国カトマンズ郊外の農村の離乳食の実態
安部 一紀¹⁾、中村 修一²⁾、奥野 ひろみ³⁾、深井 穂博¹⁾
1) ネパール歯科医療協会 2) 九州歯科大学国際交流・協力室 3) 静岡県立大学看護学部
- P3 - 43 モンゴル国における口唇口蓋裂治療の現状について
上谷 美幸¹⁾²⁾³⁾、夏目 長門¹⁾²⁾、TUDEVORJ ERKHEMBAHTAR⁴⁾、神馬 征峰³⁾
1) (特活) 日本口唇口蓋裂協会 2) 愛知学院大学口腔先端科学研究所 国際協力研究部門 3) 東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室 4) モンゴル国立母子病院
- P3 - 44 東京の野宿者における口腔内の状況
中久木 康一¹⁾、小室 貴子¹⁾、大脇 甲哉¹⁾、金沢 さだこ¹⁾、稲葉 剛¹⁾
1) 新宿連絡会・医療班
- P3 - 45 医学部（医学科）における国際保健医療に関する教育実態調査
山中 早苗¹⁾、中村 安秀¹⁾、石井 明²⁾、川端 真人³⁾
1) 大阪大学大学院 人間科学研究科 2) 実践女子大学 生活科学部 3) 神戸大学 医学部
- P3 - 46 「国際保健」に関する学生の意識調査について
矢野 潔子¹⁾、新地 浩一¹⁾、松崎 由美¹⁾、兒玉 幸子¹⁾、古川 真三子¹⁾
1) 佐賀大学 医学部 国際保健看護学分野
- P3 - 47 国際保健を目指す学生の意識と実践活動に関しての考察
仲佐 保¹⁾、阿部 麻理恵²⁾、飯山 きえ²⁾、井上 愛²⁾、門井 謙典²⁾、香取 さやか²⁾、杉原 淳²⁾、長嶺 由衣子²⁾、山道 拓²⁾
1) 国立国際医療センター 2) 日本国際保健医療学会 学生部会
-

10 : 40 人材育成・人材開発

座長：帖佐 徹（国立国際医療センター）

- P3 - 48 看護系における国際協力に携わる人材育成に関する研究
喜多 悦子¹⁾、松尾 和枝¹⁾、中村 光江¹⁾
1) 日本赤十字九州国際看護大学
- P3 - 49 小児科臨床医、医学生に対する国際小児保健医療協力入門セミナーの試み
栗嶋 クララ¹⁾、伊藤 智朗¹⁾、浅野 祥孝¹⁾、奈倉 道明¹⁾、西山 綾子¹⁾、山口 文香¹⁾、森脇 浩一¹⁾、高橋 謙造²⁾、中村 安秀³⁾、田村 正徳¹⁾
1) 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 2) 順天堂大学公衆衛生学教室 3) 大阪大学人間科学国際協力論講座
- P3 - 50 保健医療従事者のインセンティブ - 発展途上国や移行国での課題の検討
兵井 伸行¹⁾
1) 国立保健医療科学院 人材育成部
- P3 - 51 マラウイ国における医療技術者養成に関する課題
荒木 京子¹⁾、中村 安秀¹⁾
1) 大阪大学大学院 人間科学研究科
- P3 - 52 日本赤十字社での国際救援要員育成 ~ インドネシア赤十字社ボゴール病院支援事業を通して ~

関塚 美穂¹⁾、伊藤 明子¹⁾、白子 順子¹⁾、石川 清¹⁾

1) 名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部

P3 - 53 インドネシアにおける難聴予防、治療、リハビリテーションプロジェクト 第16報：長崎佐賀地区ロータリアンと耳鼻咽喉科医の貢献

江上 徹也¹⁾、重野 浩一郎²⁾、鈴木 淳一³⁾、中井 義明³⁾、中川 雅文⁴⁾、三好 彰⁴⁾、武井 洋一⁵⁾、本城 好春⁵⁾

1) 長崎西ロータリークラブ、江上耳鼻咽喉科医院 2) 長崎県耳鼻咽喉科医会 3) Hearing International 4) 日本ヒアリングインタナショナル 5) 国際ロータリー2740地区

P3 - 54 当院の国際コース研修医に対する地域保健研修プログラム

浦部 大策¹⁾、高岡 宣子¹⁾、穂積 大陸¹⁾、中野 博行¹⁾、藤堂 景茂²⁾、井手 義雄³⁾

1) 聖マリア病院 国際協力部 2) 聖マリア病院 院長 3) 聖マリア病院 理事長

11:10 人材育成・人材開発/ワクチン・接種実施事業の現状・その他

座長：兵井 伸行（国立保健医療科学院）

P3 - 55 民間病院における国際医療協力の試み～国際交流に関する意識調査を通して～

松本 安代¹⁾、塩川 智司¹⁾、小出 泰道¹⁾、船戸 正久¹⁾、川端 真人²⁾

1) 淀川キリスト教病院 2) 神戸大学 医学部 附属医学医学医療国際交流センター

P3 - 56 民間病院における国際医療協力の試み ～とくに外科的医療協力について～

塩川 智司¹⁾、松本 安代²⁾、加地 政秀¹⁾、花垣 博史¹⁾、永井 緑¹⁾、船戸 正久¹⁾

1) 淀川キリスト教病院 2) 神戸大学医学部附属医学医療国際交流センター

P3 - 57 関西国際保健勉強会（ぼちぼち）の歩みと将来展望

岡田 幸恵¹⁾、橋本 洋之²⁾、小倉 健一郎³⁾、團野 桂⁴⁾

1) 東大阪市保健所地域健康企画課 2) 市立貝塚病院産婦人科 3) 相原第二病院 4) 大阪大学微生物研究所

P3 - 58 臨床の医師、看護師によるスタディーツアー実施へのプロセス

梶 藍子¹⁾、仲佐 保¹⁾、横本 理恵¹⁾、下田 佳奈¹⁾

1) 国立国際医療センター BRIDGE

P3 - 59 国際学術共同研究の新たなスキーム

今田 美穂子¹⁾、Tuda Josef²⁾

1) 慶応義塾大学 医学部 熱帯医学寄生虫学教室 2) サムラトラング大学 医学部 寄生虫学教室

P3 - 60 効果的な予防接種対象児童事前登録の研究

帖佐 徹¹⁾、疋田 和生¹⁾、小林 誠¹⁾、村上 仁¹⁾、石田 裕¹⁾、蜂矢 正彦¹⁾

1) 国立国際医療センター 国際医療協力局

P3 - 61 ラオス国における予防接種率低迷の原因解明に関する研究 - 第二報 ワクチンカード記録に基づく接種率算出調査 -

高橋 謙造¹⁾、黒岩 宙司²⁾、丸井 英二¹⁾

1) 順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 2) 東京大学 大学院医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健計画学教室

11:40 ワクチン・接種実施事業の現状・その他/リーシュマニア・トリパノソーマ症

座長：黒岩 宙司（東京大学）

P3 - 62 ラオス国におけるポリオ根絶後の定期接種率停滞の解明研究

前川 正治¹⁾、Douangmala Somthana²⁾、黒岩 宙司³⁾

1) 国際協力機構 2) National Center for Mother and Child Health, Laos 3) 東京大学 大学院 医学系研究科 国際保健計画学

- P 3 - 63 わが国における1971年から2000年までのワクチン由来ポリオ麻痺のリスク
ハオ 利新¹⁾、豊川 智之¹⁾、小林 廉毅¹⁾
1) 東京大学 医学系研究科 公衆衛生学教室
- P 3 - 64 パキスタンにおける予防接種拡大計画と女性保健従事者プログラムの連携
小林 誠¹⁾、櫻田 紳策²⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 2) 国立国際医療センター 研究所
- P 3 - 65 予防接種率電算システムの導入による途上国における予防接種事業評価の試み
五十嵐 久美子¹⁾、佐々木 諭²⁾、金 容林²⁾、田辺 直仁¹⁾、鈴木 宏¹⁾
1) 新潟大学 医歯学総合研究科 公衆衛生学 2) JICA ルサカ市プライマリーヘルスケアプロジェクト
- P 3 - 66 ベトナムにおける B 型肝炎ワクチン出生時接種：実施の現状とコスト
村上 仁¹⁾、Nguyen Van Cuong²⁾、Lynn Huynh³⁾、David Barry Hipgrave⁴⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力第一課 2) ベトナム国家拡大予防接種計画
3) フルブライト研究員 4) ユニセフ・インドネシア事務所
- P 3 - 67 IDENTIFICATION OF CAUSATIVE PARASITES OF LEISHMANIASIS IN PAKISTAN BY CYTOCHROME *b* GENE ANALYSIS (Report NO 2)
KM Chomar¹⁾, ASATO YUTAKA¹⁾, KATO HIROTOMO²⁾, AM BHUTTO³⁾, FR SOOMRO⁴⁾, MATSUMOTO JUN⁵⁾, JD MARCO⁶⁾, KATAKURA KEN⁵⁾, UEZATO HIROSHI¹⁾, HASHIGUCHI YOSHIHISA⁶⁾
1) Dept of Dermatology, Faculty of Medicine, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan 2) Dept of Veterinary Hygiene, Faculty of Agriculture, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan 3) Dept of Dermatology, Chandka Medical College Hospital, Larkana, Sindh, Pakistan 4) Leishmaniasis Office, Chadka Medical College Hospital, Larkana, Sindh, Pakistan 5) Lab of Parasitology, Dept of Disease Control, Veterinary of Medicine, Hokkaido University, Hokkaido, Japan 6) Dept of Parasitology, Kochi Medical School, Kochi University, Kochi, Japan
- P 3 - 68 Cytochrome *b* 遺伝子を使用したリーシュマニア原虫の系統樹解析の検討
安里 豊¹⁾、KM Chomar¹⁾、山本 雄一¹⁾、上里 博¹⁾、Marco JD²⁾、加藤 大智³⁾、三森 龍之⁴⁾、Gomez EA⁵⁾、橋口 義久²⁾
1) 琉球大学 医学部 医学科 皮膚科学教室 2) 高知大学 医学部 寄生虫学 3) 山口大学 農学部 家畜衛生学 4) 熊本大学 医学部 保健学科 5) エクアドル国 カトリカ大学医学部 熱帯医学教室

12 : 10 リーシュマニア・トリパノソーマ症

座長：Mohammad Zahidul Islam (愛知医科大学)

- P 3 - 69 The usefulness of modified polymorphism-specific-PCR (MPS-PCR) in the diagnosis of American tegumentary leishmaniasis (ATL) and its contribution on the identification of *Leishmania* spp. involved
MARCO JORGE¹⁾, MIMORI TATSUYUKI³⁾, BARROSO PAOLA¹⁾, MORA MARIA²⁾, CAJAL PAMELA⁴⁾, CALVOPINA MANUEL¹⁾, KORENAGA MASATAKA¹⁾, BASOMBRIO MIGUEL²⁾, TARANTO NESTOR⁴⁾, HASHIGUCHI YOSHIHISA¹⁾
1) Dept of Parasitol, Kochi Med Sch, Kochi Univ, Kochi, Japan 2) IPE, Univ Nacional de Salta, Salta, Argentina 3) Dep of Microbiol, Sch of Health Sci, Kumamoto Univ, Japan 4) IIET, UNSa, Orán, Salta, Argentina.
- P 3 - 70 *In vitro* anti-leishmanial activity of green tea (*Camellia sinensis*) catechins against *L. (L.) amazonensis* and *L. (V.) braziliensis*.
BARROSO PAOLA¹⁾, MARCO JORGE¹⁾, CALVOPINA MANUEL¹⁾, HARA YUKIHIKO²⁾, KORENAGA MASATAKA¹⁾, HASHIGUCHI YOSHIHISA¹⁾
1) Dept of Parasitol, Kochi Med Sch, Kochi Univ, Kochi, Japan 2) Mitsui Norin Co., Ltd., Tokyo, Japan
- P 3 - 71 クルーストリパノソーマ感染に関与する分子である Gp82遺伝子の機能解析
Songthamwat Dujdow¹⁾、梶原 和男¹⁾、菊池 三穂子²⁾、上村 春樹³⁾、柳 哲雄³⁾、肥後 広夫⁴⁾、安波

道郎²⁾、平山 謙二¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 疾病生態分野 2) 長崎大学 国際連携研究戦略本部 3) 長崎大学熱帯医学研究所 感染細胞修飾機構分野 4) 九州大学 医学部 寄生虫学

P 3 - 72 濾紙採血試料を用いた Dot - ELISA による *T.cruzi* 感染検査方法に関する検討

関 健介¹⁾、三浦 左千夫²⁾、下川 洋³⁾、金子 哲也¹⁾

1) 杏林大学 保健学部 環境保健学研究室 2) 慶應義塾大学 医学部 熱帯医学・寄生虫学教室 3) Municipal Hospital de Palhano, Palhano-Ceara-Brazil

P 3 - 73 寄生虫におけるフォスファーゲンキナーゼ遺伝子の分子生物学的研究

吾妻 健¹⁾、長瀧 充¹⁾、Wickramasinghe Susiji¹⁾、Yatawara Lalani¹⁾、矢野 弘子²⁾、渡部 嘉哉²⁾、宇田 幸司³⁾、鈴木 知彦³⁾

1) 高知大学 医学部 看護学科 2) 株式会社ソフィ 3) 高知大学 理学部 物質科学科

P 3 - 74 在日ラテンアメリカ人のシャーガス病と献血対策

三浦 左千夫¹⁾、肥後 廣夫²⁾、下川 洋³⁾、IVO CASTERO⁴⁾、竹内 勤¹⁾

1) 慶應義塾大学 医学部 熱帯医学寄生虫学 2) 九州大学 大学院 医学研究院 感染免疫熱帯医学分野 3) Hospital de Palhano.,Municipal de Palhano.,Ceara-Brazil 4) Dept.Patologia. Nucleo de Medicina Tropical.,UFC.,Ceara-Brazil 5) 慶應義塾大学 医学部 熱帯医学寄生虫学